

OPEN YOKOHAMA

環境未来都市 横浜

横浜市は、平成23年12月、環境問題や超高齢化への対応など、様々な社会的課題を解決する成功事例の創出・普及展開を目指す「環境未来都市」に国から選定されました。

環境未来都市 横浜が描く将来像 (2050年頃)

自然に恵まれたゆとりある生活空間と、機能性に優れたビジネス空間が共存する都市の中に、港や歴史的な建物が趣を添えている多彩なまちなみが創造力を育んでいます。

そこでは、低炭素でどのような時にも途切れないエネルギーネットワークと、医療や介護、福祉、子育ての切れ目ない連携から来る安心感が人々の活動を支えています。

【実現に向けた取組み：テーマ 01,02】



さらに、そこで生み出される文化芸術の魅力や成長産業が、世界中から多くの人や企業を呼び寄せ、そこでの交流が新たなアートや産業を沸き起こしています。

【実現に向けた取組み：テーマ 03】

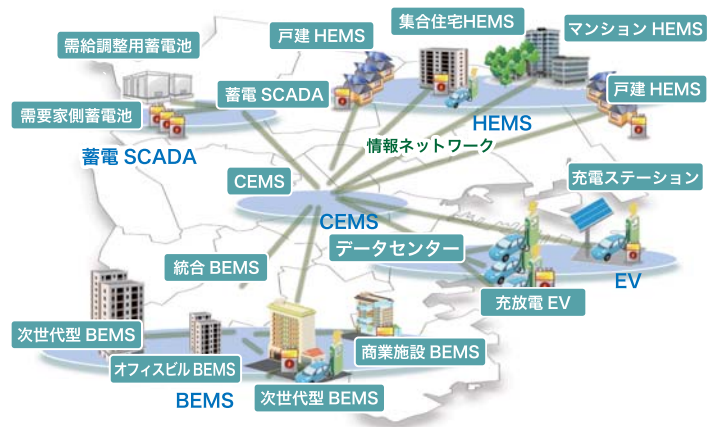
このように様々なひと・もの・ことが行き交う「みなと」として多様性を受け止めながら、新たな価値を生み出し続けます。

テーマ 01 世界の2大問題「低炭素・水」に挑戦します

【主な取組み例】

地域エネルギーマネジメントシステム (CEMS) の構築

- 再生可能エネルギーの大量導入や、効率的なエネルギー管理を可能とするCEMSの構築に取り組む横浜スマートシティプロジェクト (YSCP) を大規模な市民参加の下に進めます。
- YSCPにより得られた開発技術・成果などを、東日本大震災被災地の自治体と連携して展開・活用し、早期の復興、新たな都市づくりに貢献します。



上下水道技術の海外展開支援による、海外の水問題の解決への貢献

- 「横浜水ビジネス協議会」〔137社・団体 (H24.3.1 現在) と横浜市で構成〕の活動を通じ、民間企業の多様な上下水道技術と、市の運営ノウハウ等を連携させ、市内企業等の海外展開を支援します。
- JICAと連携し、ベトナム中部17省・1市での水道事業体の人材育成・実践的訓練の枠組みづくりを行うほか、「横浜ウォーター」(横浜市水道局設立会社) と連携して、海外水道事業に関するコンサルティング・研修の受入れを行います。



横浜市の協力で、蛇口から水が飲めるように (ベトナム・フエ)

テーマ 02 \\ 人々がつながり、暮らしやすい地域づくりを進めます

【主な取り組み例】

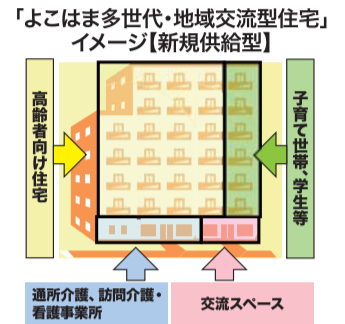
横浜型高齢者活躍プロジェクト

- 市民一人ひとりが、楽しみながら健康の維持・増進に取り組む仕組みづくりを進めるとともに、元気な高齢者が地域で活躍できる機会を提供していきます。
- 元気な高齢者の活躍が、地域のつながりや新たなビジネスを生み、横浜市全体が活性化することを目指します。



持続可能な住宅地モデルプロジェクト、よこはま多世代・地域交流型住宅の供給促進

- 大規模団地や鉄道沿線住宅地などの生活圏をモデルに、生活支援機能の充実、学校・医療・福祉連携などにより、温かでコンパクトなまちをつくります。
- 高齢者の方が介護が必要になっても、子育て世帯などとともに、安心して住み続けられる生活支援サービスや交流スペースなど必要な機能を備えた賃貸住宅の整備促進に取り組みます。



テーマ 03 \\ アジア・世界の文化発信・産業拠点化を目指します

【主な取り組み例】

グローバルな都市ブランドの確立

- 美術・ダンス・音楽の3つのヨコハマ・アート・フェスティバルを継続的に開催し、世界に誇れる文化芸術都市を創出します。
また、歴史的建造物等の活用などにより、アーティスト・クリエイターの創作・発表・滞在の場である「創造界限」を形成します。
- 観光都市・国際コンベンション都市としての魅力、機能をより一層高めるため、誘客事業やMICE誘致・開催の充実を図ります。

イノベーションを生み続ける産業拠点の形成

- 特定都市再生緊急整備地域への指定を得て、都心部においてグローバル企業の本社機能・研究開発拠点の誘致に向けた拠点整備を行うとともに、企業立地促進条例を活用した誘致活動を積極的に行います。
また、国際戦略総合特区の指定を得て、京浜臨海部に国際競争力あるライフサイエンス拠点を形成します。
- 就労・起業支援等女性の社会進出支援や、子どもたちの社会に関わり貢献する力の育成を進めます。



スマートイルミネーション横浜-省エネ技術とアートでつくる「もうひとつの横浜夜景」2011年 象の鼻テラス藤本隆行・Rhizomatiks(真鏡大度、石橋崇)《The Organic Nucleus/有機中芯的「象の鼻」》Photo:Hideo Mori会場:象の鼻テラス/横浜三塔(神奈川県庁本庁舎/横浜税関/横浜市開港記念会館)



これら取り組みの成果を国内外へ発信

国内外のネットワークをフル活用

- 国内では、山梨県道志村や北海道下川町との、水やカーボンオフセットなどでの連携実績をもとに、多くの地方自治体と、新たな連携を広げていきます。
また、被災地である福島県会津若松市、宮城県山元町及び南三陸町に対して、低炭素・水の分野を中心に復興を支援していきます。
- 海外においては、新興国等における都市やJICAとの連携を進めながら、横浜が持つ環境に配慮した都市づくりのノウハウや技術を活用して、都市課題解決を支援する「公民連携による国際技術協力事業」(Y-PORT 事業)を推進します。

